

(3) うるおしやにぎわいを育む快適なまち

①歴史・文化とのふれあい

本市は、世界的に知られる仁徳天皇陵古墳に代表される百舌鳥古墳群や、鉄砲鍛冶屋敷、旧堺燈台、また旧街道沿いには長屋門の住宅、道標や地藏堂等、歴史的文化的遺産を数多く有しています。こうした独自の優れた歴史・文化遺産の保全や、伝統文化の継承発展を図っていきます。

◆百舌鳥古墳群

百舌鳥古墳群は、堺市内の東西・南北約4キロメートルの範囲に広がる古墳群です。

古墳時代、この一帯には100基を超える古墳が造られました。

しかし、都市化の進展などによってその多くが失われ、現在は4世紀後半から5世紀後半に造られた44基の古墳が残っています。

その中には、世界最大級の墳墓・仁徳天皇陵古墳をはじめとする巨大前方後円墳などが含まれており、日本の古墳文化を代表する貴重な遺産です。

また、仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥・古市古墳群が、平成22年11月にユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載されました。これは同古墳群が、日本の世界遺産登録をめざす遺産の一つとして認められたものであり、引き続き、世界文化遺産登録に向けた取組みを推進していきます。



◆ニサンザイ古墳発掘調査 現地公開

平成24年10月から、百舌鳥古墳群の保護と活用を図るため、宮内庁が墳丘の発掘調査を実施すると同時に、本市も周濠の発掘調査を行い、12月1日・2日にその発掘調査の様子を一般公開しました。

墳丘裾にそって仮設通路を設け、築造当初の円筒埴輪や葺石が出土している調査区を公開しました。

今後は、宮内庁の調査成果も合わせて当古墳の築造時期・規模等について検討していきます。



一般公開の様子



◆文化観光拠点整備事業

旧市街地の中心に位置する旧市立堺病院跡地において、堺の特色ある文化を振興し、観光集客に資するため、千利休、与謝野晶子をテーマとする2つの文化施設、及び堺観光の玄関口としての観光案内施設や交通ターミナル機能などからなる文化観光拠点の整備に取り組んでいます。

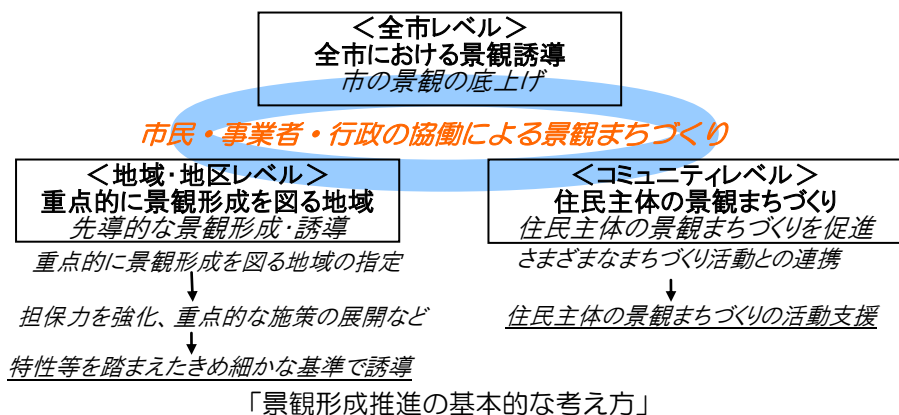
②まち並みの美しさ

堺は、古代の百舌鳥古墳群、中世の環濠都市、近世の町衆文化、そして近代から鉄道を中心として発展してきた市街地や泉北ニュータウン、臨海部への産業集積など、各時代に輝いてきた都市です。良好な景観を形成していくには、市民一人ひとりが良好な景観を共に守り、育み、時代に応じた新たな景観を創っていくことや、日常生活における美化活動や緑化活動などの身近な環境を良くする思いと行動が重要です。良好な景観形成に関する取組みを継続することが、快適で、潤いある生活環境を育てていきます。

◆堺市景観計画・堺市景観条例

本市では、平成5年に「堺市景観条例」を制定し、堺市基本計画を策定して大規模建築物等の景観誘導や堺市景観賞などの景観施策を進めてきました。

この間、景観に対する意識の高まりや「景観」そのものの整備・保全を目的とするわが国で初めての総合的な法律である「景観法」が施行されるなど社会環境が大きく変化しています。このような時代の変化へ対応し、良好な景観形成を総合的かつ計画的に進めるとともに実効性ある景観誘導を図るため、景観法に基づく景観計画を策定するとともに「堺市景観条例」の改正を行いました。これらは、平成23年12月1日から施行されました。



平成23年度 第14回堺市景観賞受賞作品

■建築物部門



関西大学堺キャンパス
(堺区香ヶ丘町1丁)



水野鍛錬所
(堺区桜之町西1丁)



中村金物
(中区伏尾)

■景観活動部門



花愛好会
(中区深井清水町 深井花のこみち)



中之町フラワーウェーブ
(堺区中之町西2丁 中之町公園)

■奨励賞



社会福祉法人地球の園こひつじ保育園
(南区竹城台2丁)

③まちのにぎわい

環境への配慮が浸透した良好で快適な環境は、都市の魅力を高め、にぎわいのあるまちの実現に結びついていきます。

本市は中世鉄砲鍛冶の技を自転車部品製造技術に活かしながら、現在まで脈々と伝承してきた自転車のまちであり、わが国唯一の「自転車博物館サイクルセンター」が開設されています。

また、世界の著名・強豪チームが参戦する自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ」が開催されています。

“自転車のまち堺”という特性を活かして楽しく自転車を利用できるまちづくりをめざします。



(ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ)



(自転車博物館サイクルセンター)

◆自転車利用環境の整備

・コミュニティサイクル事業

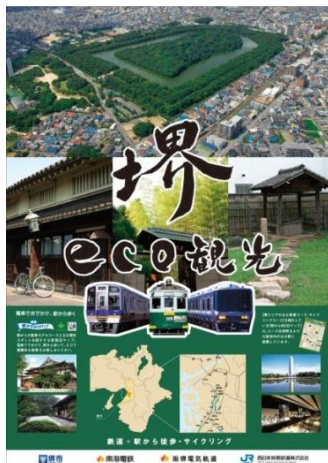
共用の自転車を配置するサイクルポート(専用駐輪場)を複数配置し、どこでも自転車の貸出・返却が可能な交通システムで、電車やバスの乗り継ぎの利便性を高め、自転車や公共交通の利用を促進し、二酸化炭素排出量の削減とともに、駅前等放置自転車対策などにも寄与することを目的としています。



(コミュニティサイクルポート(専用駐輪場)マップ)

・観光レンタサイクル

堺市内の各観光案内所(3か所)、自転車博物館サイクルセンター、市内ホテル(7か所)では、レンタサイクルの貸出を行っており、観光ビジターの利便性の向上を図っています。



◆堺 eco 観光

「堺 eco 観光」とは、平成21年6月からスタートした、JR西日本・南海電鉄・阪堺電気軌道・堺市の連携による、環境に優しい鉄道と徒歩・サイクリングを組み合わせた観光を推進する取り組みです。

「電車を出かけて駅から散策」をコンセプトに3種類の散策モデルコースを設定しています。